

指定管理者更新に係る検証シート

1 施設及び指定管理者の概要

施設名	愛媛県生涯学習センター	施設所管課	観光スポーツ文化局文化局まなび推進課
設置年月日	平成3年4月1日	耐用年数	50年
現指定管理者の名称	株式会社レスパスコーポレーション	現指定期間	平成31年4月～令和6年3月(5年間)
これまでの指定の状況	第1期:平成21年4月～平成26年3月(5年間)、第2期:平成26年4月～平成31年3月(5年間)		

2 検証のための指標の推移

(1) 利用者数

	平成20年度 (制度導入前年度)	平成30年度 (現指定期間前年度)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	81,305 人	130,633 人	123,101 人	55,069 人	49,400 人	85,047 人 (42,331 人)
対制度導入前年度比			151.4 %	67.7 %	60.8 %	104.6 %
対現指定期間前年度比			94.2 %	42.2 %	37.8 %	65.1 %

(※)令和4年度については、上段に年間見込数を、下段()内には令和4年10月末までの実績数を記載。

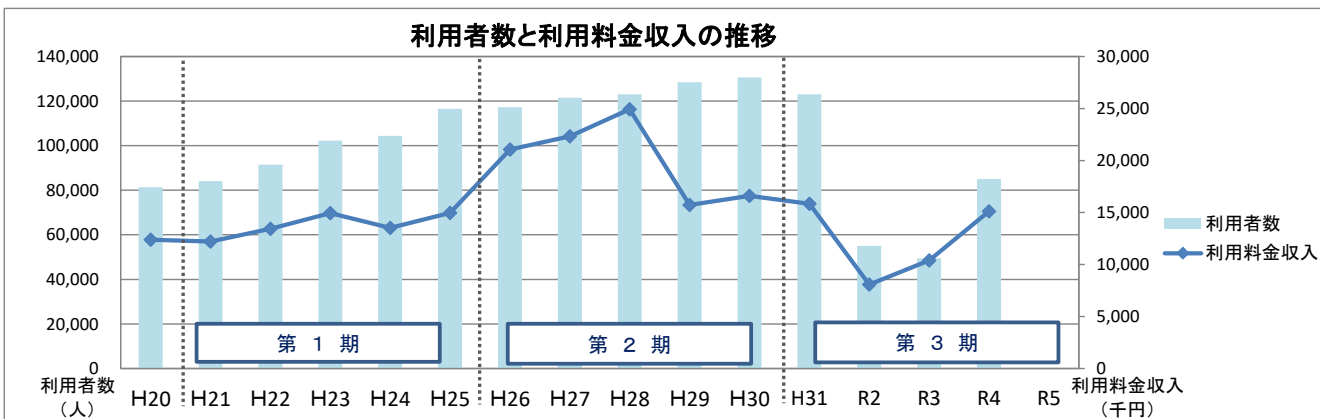
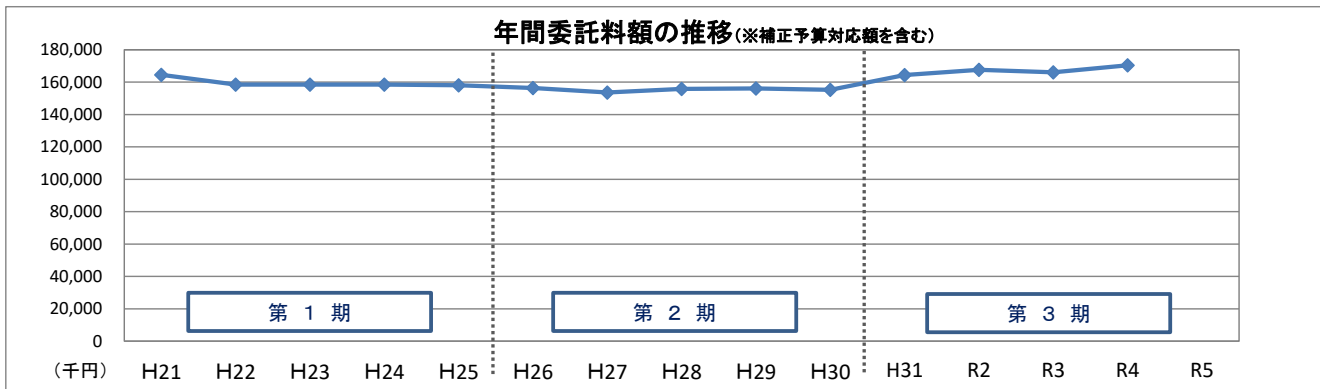
(2) 収支状況

	平成30年度 (現指定期間前年度)	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度※1
収(入)	212,057 千円	246,060 千円	185,812 千円	186,644 千円	198,909 千円
委託料	155,187 千円	164,121 千円	163,371 千円	163,371 千円	163,372 千円
委託料(補正予算対応額)※2	— 千円	195 千円	4,278 千円	2,683 千円	7,023 千円
利用料金収入	22,829 千円	21,270 千円	9,049 千円	11,482 千円	15,121 千円
うち生涯学習センター	16,613 千円	15,827 千円	8,074 千円	10,397 千円	13,516 千円
うち青少年ふれあいセンター	6,216 千円	5,443 千円	975 千円	1,085 千円	1,605 千円
その他の収入	34,041 千円	60,474 千円	9,114 千円	9,108 千円	13,393 千円
支(出)	212,090 千円	245,916 千円	185,812 千円	186,644 千円	198,909 千円
収(A) - 支(B)	▲ 33 千円	144 千円	0 千円	0 千円	0 千円

(※1)令和4年度については見込み額を記載

(※2)新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、補正予算で増額した委託料を記載

(※3)表中の各数値について、一体的管理を行うえひめ青少年ふれあいセンターと合わせた金額を記載



(3) 経費削減のための主な取組み（平成31年度～令和4年度）

- 保守契約などで、両センター一括の契約により経費削減を図る。
- 館内告知POP制作など、外部委託を抑えセンター職員で制作する。
- 事業実施の効率化、人材育成による作業能力アップを図る。
- 設備・機器の保守点検については、予防保全を前提とした機器管理マニュアルに基づき管理。
- 事務用品・消耗品費は月次管理基準マニュアルに基づき削減を図る。
- 人員は、適材適所を原則に個人スキルの向上と、適正な配置転換を行い効率の向上に努める。

(4) サービス向上のための主な取組み（平成31年度～令和4年度）

- 新聞広告を実施、ホームページの内容充実、企画展・イベントごとのポスター・チラシの作成及び配布先の拡大
- マスコットキャラクターの活用
- 生涯学習講座の拡充
- 企画展示室や県民小劇場を利用したイベント、大規模イベント(生涯学習ふれあいフェスタ)の実施
- バスを活用した講座の実施
- 来館者対応の研修実施
- アンケート分析と事業の活用
- 坊ちゃん劇場とコラボし、新しい企画イベントを実施
- 電子看板の活用による行事案内

(5) コロナ禍における感染対策や利用者確保のための主な取り組み

- センターの入り口などに体温測定サーマルカメラ、アルコール消毒液を設置
- トイレ洋式化に伴い、蓋の自動開閉や水洗の自動化のためのセンサー及びハンドディスペンサーを設置
- 本館入口に図書除菌機を設置
- 可動式大型パーテーションなど用途に合わせた多様なパーテーションの設置
- 大研修室のAV設備のデジタル化によるリモート環境の整備
- 空気清浄機とサーキュレーターを設置及び空調修繕による空気の循環・換気の充実

3 次期更新に向けての評価等

(1) 現指定期間における指定管理者制度の導入効果の検証

<p>利用拡大の観点から (利用者数、利用料金収入)</p>	<p>制度導入前の直當時の利用者数に比べ大幅に増加するとともに、1期目の前指定管理者が伸ばした利用者数を2期目の指定管理者がさらに増加させ、3期目の現指定管理者は令和2年度のコロナ禍による大幅減少から回復に向けて増加させている。コロナ禍における感染対策の徹底、新貸館システムを活用したDMの発送、広報の充実や新しい自主事業等、指定管理者によるサービス向上の取り組みが利用者数の回復につながっている。また、利用者数の回復を受けて利用料金収入も回復に向けて増加している。</p>
<p>効率化の観点から (経費削減)</p>	<p>維持管理業務において、業務効率化と計画的な執行により指定管理導入前より経費を削減している。清掃業務は運営会社が地元住民を直接雇用し経費を抑える工夫も行っている。電気使用量・料金は電力デマンド管理を行い貸館状況を把握し、きめ細やかな管理を行い経費を削減している。重油管理は空調確認表を基に、快適な室温管理と省エネ運転を行い使用量を削減している。LED照明等節電機器の導入により経費の削減・効率化が図られている。事業実施に際しても魅力ある効率的な事業を実施していると評価できる。</p>
<p>利便性・県民サービス向上の観点から</p>	<p>新しい講座や大規模イベントをはじめ、坊ちゃん劇場とコラボした新しい企画イベントも始めるなど、施設がより利用しやすくなるような事業展開を心がけている。顧客満足度の向上のためアンケートを実施し、利用希望の多い講座を開講しており、利用者のニーズにできる限り対応することで、適切に利便性及びサービス向上に努めていると評価できる。</p>
<p>その他の観点から (前指定期間と比較して特筆すべき成果、利用者等の安全性の確保、収入確保に向けた取組みの状況(広告事業等)、その他協定の履行状況など)</p>	<p>利用者の安全確保の取り組みとして、緊急時対策マニュアルの作成、防火訓練、AED講習等を実施しているほか、危険個所には適切な表示をし、また適宜改修も実施している。ホームページ・CM等での告知、ターゲットを絞った広報・営業活動など様々な取り組みを行い、各種イベントや講座等、有料自主事業の開催などにより収入の確保に努めている。県の防災拠点としての役割など、県政への協力が評価できる。基本協定・年次別協定の確実な履行を継続しており、コロナ禍における感染対策への対応や施設の老朽化が進行する中において、早急な修繕が必要になった場合にも迅速に対応し利用者の安全性・快適性の確保に大きく貢献している。</p>

(2) 次期更新に向けての方針及びその説明

マスコットキャラクター設定や積極的な広報活動、各種事業の充実(生涯学習講座、企画展、生涯学習ふれあいフェスタ)等により、直當時代に比べ、利用者・利用収入ともに、コロナ禍以前までは、大幅に増加し、かつ、年々増加傾向を維持しており、現在は、コロナ禍以前の状態への回復に努めている。迅速なコロナ禍における感染対策や大規模修繕を県と協議して効果的に実施しているほか、アンケートを行い、利用者のニーズに沿った事業実施に努めており、引き続き指定管理者制度の高い導入効果が期待できるため、指定管理者制度による管理運営を更新して継続することが適当である。